2年連続の九州大会出場

グラウンドゴルフ大会で町身障連チーム

3位に入賞した益城町チーム（左から中原さん、野田さん、西さん、山﨑さん、坂本さん、田島さん、馬場さん）

6月4日、芦北町の町営グラウンドで開催された第8回熊本県身体障がい者グラウンド・ゴルフ大会で、益城町チームが3位に入賞し、10月に福岡県で開催される九州大会への出場を決めました。

大会には、県内から58チーム、364人が出場。本町からは町身障連会長の馬場孝さん（市ノ後団地）、西靜雄さん（辻団地）、山﨑義弘さん（南）、中原俊一さん（同）、田島和子さん（宮園）、野田正徳さん（市ノ後）、坂本剛士さん（市ノ後団地）が出場し、見事なチームプレーを発揮しました。

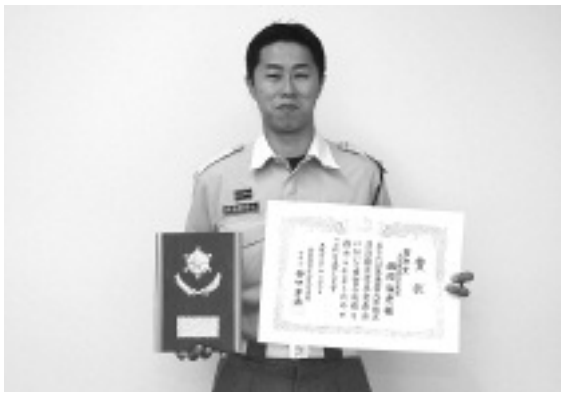
監督の馬場さんは「毎日の練習が大切ですが運も必要。九州大会では一つでも上位を目指して頑張ります」と意欲を見せていました。

食は「人」を「良く」する

高遊原南消防本部職員の西岡治彦さん

4月22日、八代市で開催された第34回熊本県消防職員意見発表会（県内から代表14人出場）で、高遊原南消防本部の西岡治彦さん（広崎4町内）が最優秀賞に輝き、5月20日に長崎市で開かれた九州大会（各県から代表1人）で努力賞を受賞しました。この大会は、消防職員の職責の自覚と士気の高揚を図るとともに資質の向上を目指し毎年開催されています。

西岡さんの発表テーマは「食」。「災害時、炊き出しなどによる心温まる食事は、不安を和らげ、心を落ち着かせる効果が期待できます。『食』という字は人を良くすると書きます。多くの人に食の大切さを伝えていければ」と話しています。



九州大会で努力賞を受賞した西岡さん

声援を受けミナテラスをスタートする会員の皆さん

ずっと楽しんで走りたい

益城走ろう会が結成30周年記念駅伝開催

走ることが大好きで、町の各種イベントでも活躍する「益城走ろう会」（村口省三会長）が、本年、結成30周年を迎え、その節目を祝おうと5月28日、記念駅伝を開催しました。

益城走ろう会は、会員の健康づくりをモットーに、現在、13人が活動を続けています。

この日は、熊本走ろう会（熊本市）と大津走ろう会（大津町）の有志も友情参加。25人が3チームに分かれ、ミナテラスから南阿蘇村の「四季の森」までの32.4kmを、マイペースで楽しく走り通しました。会長の村口さんは「競わず明るく走り続けることが一番。みなさんの入会を待っています」と話しています。